まずは、主任教諭選考からチャレンジしてみましょう！

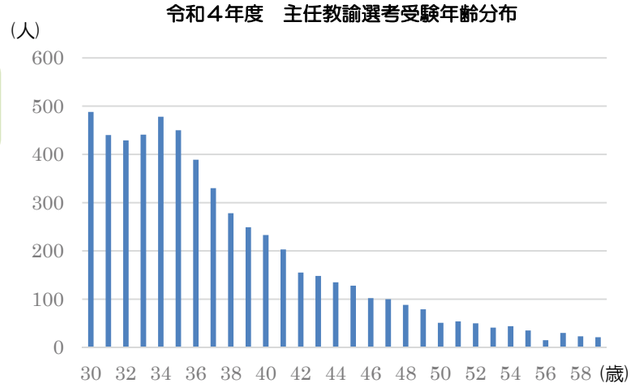
主任教諭選考

【主任教諭】校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割

⇒合格後は、主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、同僚や若手教員への助言・支援ができる主任教諭に任用

【選考状況】

令和４年度　主任教諭選考受験年齢分布



[平均年齢]37.5 歳　[受験者合計]5707 名

４級職選考

【主幹教諭】学校運営組織における中心的な役割

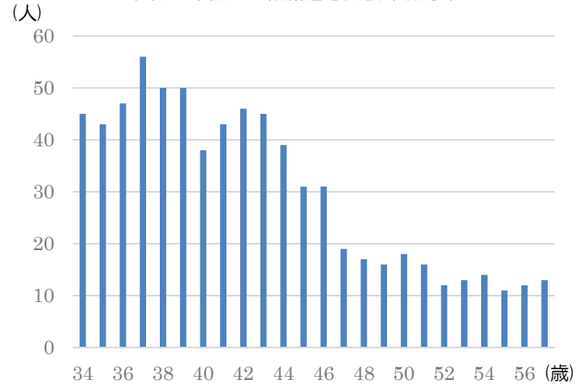
⇒合格後は、学校経営方針の推進、人材育成、分掌間の調整、教諭等を指導・監督する主幹教諭に任用

【指導教諭】学習指導のスペシャリストとして教員の授業力向上に寄与する重要な役割

⇒合格後は、高い専門性と優れた指導力により、都内公立学校全教員の学習指導力の向上を図る指導教諭に任用

【選考状況】

令和４年度　４級職選考受験年齢分布



[平均年齢]42.3 歳　[受験者合計]725 名

※以上の他に、昇任選考には「教育管理職選考（Ｃ選考）」があります。
Ｃ選考合格後は、原則として、翌年度から「現場経験の豊富なベテラン教員から選抜された即戦力管理職」として副校長に任用されます。

御質問などがある場合は、各学校の管理職にお問い合わせください。

なお、このリーフレットは
こちらからも御覧いただけます。

発行元：東京都教育庁人事部職員課
東京都教育委員会印刷物登録令和５年度第１号

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

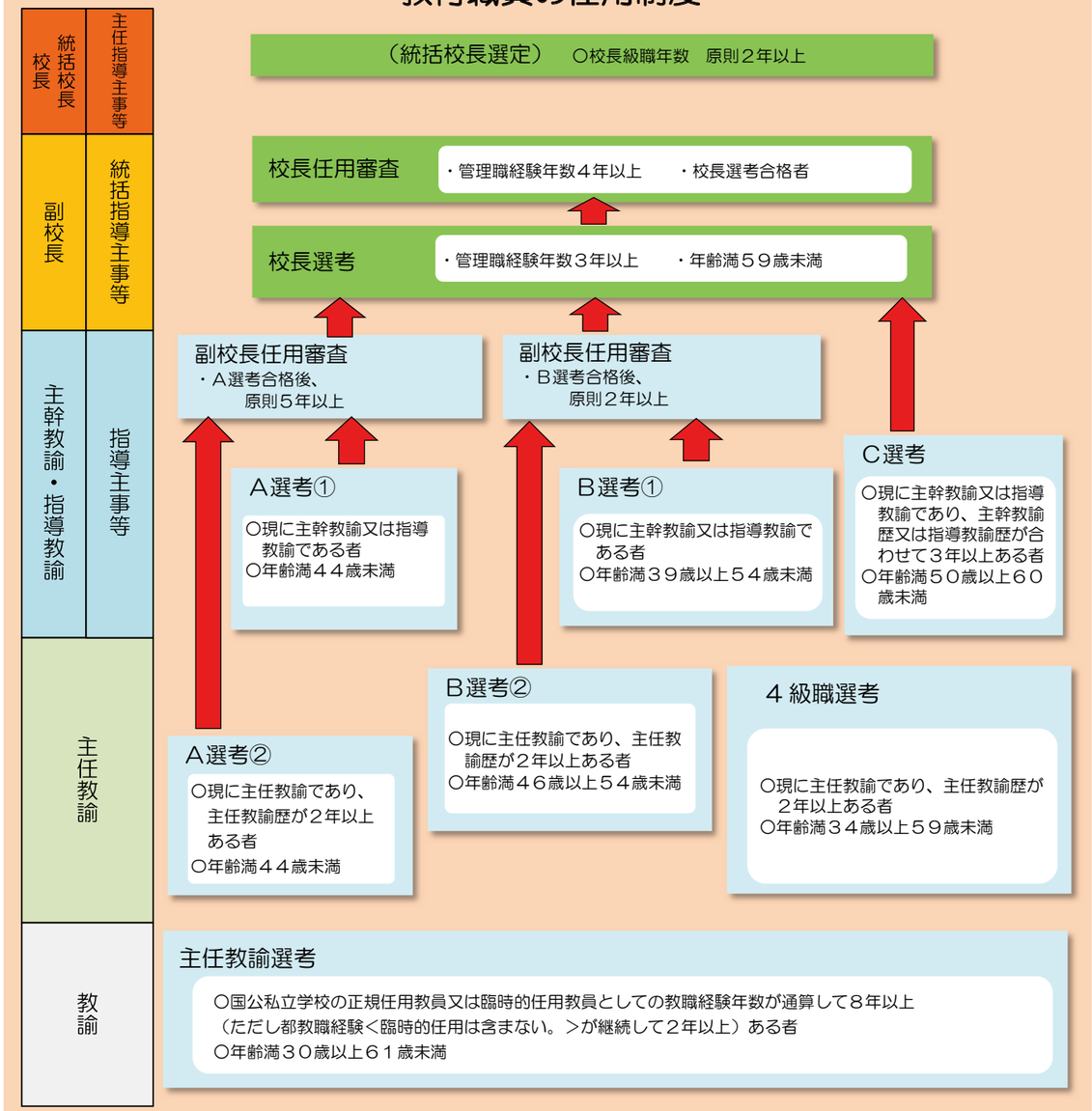
あなたの力で創り上げよう
子供も先生も輝く　東京の学校を

～あなたは、今後の教員生活をどう考えますか？～

東京都教育委員会では、能力・業績に基づく任用制度を整備しています。公平公正な選考によって、多様なキャリアアップを図ることが可能になっています。

下の「教育職員の任用制度」を参考にして、あなたの今後の教員生活について考えてみましょう。

教育職員の任用制度



東京都教育委員会

今後の教員生活におけるキャリアアップについて考えてみましょう！

未来の東京都の教育を支える教育管理職に昇任するための選考には、「A 選考」、「B 選考」、「C 選考」の３種類があります。ここでは、若手・中堅教員を対象とした「A 選考」と「B 選考」を紹介します。

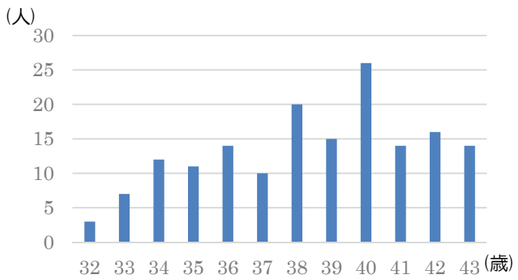
教育管理職選考（A選考）

多様で幅広い知識をもち、行政感覚にも優れた管理職の養成

⇒指導主事や長期社会体験研修生等として養成

【選考状況】

令和４年度　A 選考受験年齢分布



[平均年齢]38.4 歳　[受験者合計]162 名

【選考後の進路（例）】

※A 選考合格後は原則として指導主事になりますが、他の進路もあります。

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
A 選考① ケース1	指導主事					副校長	
A 選考① ケース2	長期社会体験研修	指導主事					
A 選考① ケース3	教職大学院派遣研修	長期社会体験研修	指導主事				
A 選考② ケース4	現任校の主幹教諭	指導主事					

【校長になるまで】

A 選考①　主幹教諭及び指導教諭からの選考の場合（満 35 歳で受験した場合）

年数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
年齢	*35*	*36*	*37*	*38*	*39*	*40*	*41*	*42*	*43*	*44*	*45*	*46*
選考等	A 選考受験合格					任用審査			校長選考受験合格	任用審査		
職層等	主幹教諭	指導主事					副校長				**校長**	

A 選考②　主任教諭からの選考の場合（満 32 歳で受験した場合）⇒合格後、原則として 1 年間現任校で主幹教諭

年数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
年齢	*32*	*33*	*34*	*35*	*36*	*37*	*38*	*39*	*40*	*41*	*42*	*43*
選考等	A 選考受験合格						任用審査			校長選考受験合格	任用審査	
職層等	主任教諭	主幹教諭	指導主事					副校長				**校長**

※上の図は、選考や任用審査を最短で合格・適格となった場合の年数となります。個人的な事情や昇任可能数の状況などにより変化します。

【A 選考から昇任した教育管理職の声】

指導主事として、地区の教育政策の推進、各学校の支援、様々な研修の企画・運営等を行ってきました。教育行政で学んだことは、学校現場でとても役に立っています。

現在は、副校長として、指導主事で培った外部との連携・折衝力を生かし、様々な関係機関と協力して学校教育を進め、一人一人の子供たちが健やかに育つ学校づくりに努めています。

A選考⇒指導主事⇒副校長（小学校）

学校経営支援主事として、特色ある教育課程の届出相談や授業観察、教員との面接などの学校訪問を通して学校経営への視野を広げることができたと強く実感しています。

現在は、副校長として、これまでの経験を生かし、学校の更なる特色づくりのため地域と連携したり、ミドルリーダーを育成したりするなど、充実した毎日を過ごしています。

A選考⇒学校経営支援主事⇒副校長（高等学校）

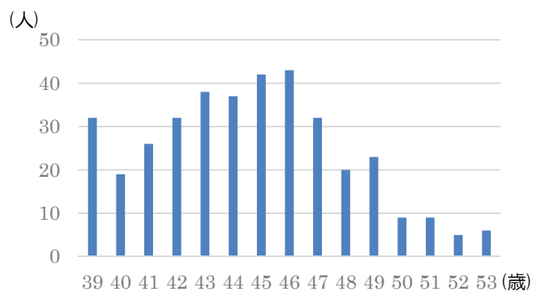
教育管理職選考（B選考）

学校運営についての高い専門性を有した管理職の養成

⇒主幹教諭として学校運営組織の中心を担わせながら学校現場で養成

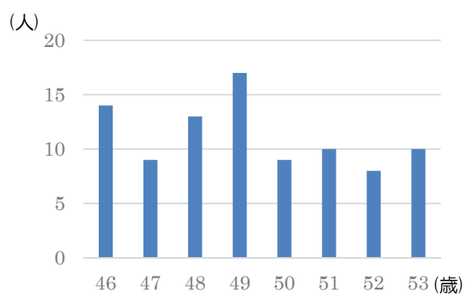
【選考状況】

令和４年度　B 選考①受験年齢分布



[平均年齢] 44.6 歳　[受験者合計] 373 名

令和４年度　B 選考②受験年齢分布



[平均年齢]49.2 歳　[受験者合計]90 名

【校長になるまで】

B 選考①　主幹教諭又は指導教諭からの選考の場合（満 39 歳で受験した場合）

年数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
年齢	*39*	*40*	*41*	*42*	*43*	*44*	*45*	*46*	*47*
選考等	B 選考受験合格		任用審査			校長選考受験合格	任用審査		
職層等	主幹教諭			副校長			**校長**		

B 選考②　主任教諭からの選考の場合（満 46 歳で受験した場合）

年数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
年齢	*46*	*47*	*48*	*49*	*50*	*51*	*52*	*53*	*54*
選考等	B 選考受験合格			任用審査			校長選考受験合格	任用審査	
職層等	主任教諭	主幹教諭			副校長				**校長**

※上の図は、選考や任用審査を最短で合格・適格となった場合の年数となります。個人的な事情や昇任可能数の状況などにより変化します。

【B 選考から昇任した教育管理職の声】

主幹教諭として、学校運営に参画することや、地域の学校間交流、企業や福祉関係の方と連携して学校教育を進める経験を積んできたことで、チーム学校の重要性を実感してきました。

現在は、副校長として、一人一人の児童・生徒に応じた指導の充実に向け、教職員が安心して指導することができるよう校内外の環境を調整することに力を尽くしています。

B選考①⇒主幹教諭⇒副校長（特別支援学校）

授業や部活動、様々な分掌業務などを前に多忙ではありましたが、充実した毎日を送っていました。自分が管理職に助けられたように、多くの先生方に生き生きと取り組んでもらえるようサポートしたいと考え、受験しました。

副校長としては、教員とのコミュニケーションを重視しつつ、日々めまぐるしく変わる学校の課題に精一杯取り組んでいます。

B選考②⇒主幹教諭⇒副校長（中学校）